

# 電子機械工学科にインタビュー！

電子機械工学科の方に、授業や、学校生活についてお話を伺いました。

## ○インタビューを受けてくださった方

**金森 聖成さん**

電子機械工学科の3年生。電子機械研究部の中心的人物で意欲的に取り組み、全国若年者ものづくり競技大会のメカトロニクス競技で学生日本一(金賞)に輝き、技能五輪大会出場を果たす。課題研究ではハンドロボット制御を研究し、成果を上げた。

**伊佐治 秀也さん**

電子機械工学科の2年生。工業科目に真剣に取り組んでいる。成績優秀で、文化祭ではクラスのリーダーとして活躍した。部活動の吹奏楽部にも熱心に取り組んでいる。

## どんなことを勉強するの？

—専門教科の中で、特に好きな専門教科について教えてください。

**金森** 機械設計です。

工業分野の様々な現象を、数々の複雑な公式を使って計算し、答えをきっちり導き出せるところが楽しいからです。

**伊佐治** 電気基礎です。

中学校の理科で学習した、モーターや磁石をさらに深く学んでいく教科です。私の場合は、中学の理科で電気系の学習が好きだったので親しみやすい教科でした。

—これまでの実習で、特に楽しかった実習を教えてください。

**金森** アンプ製作実習です。

アンプ※<sup>1</sup>の基板や外枠を自分で一から設計・製作し、自分だけのアンプを作る実習です。完成したアンプから音が流れた瞬間の達成感がすごく楽しかったです。

※1 アンプ…音を増幅(大きく)する機器

**伊佐治** PLC※<sup>2</sup>実習です。

実際に工場で使われるようなプログラムをPC内で作成する実習です。複雑なプログラムを作り上げたときに達成感を感じられて楽しかったです。

※2 PLC…機器や設備などの制御に使われる制御装置

## 専門教科って難しいの？

—専門教科と聞くと難しそうですが、ついていくのは大変ですか。

**金森** 大変だと思います。理由は初めて聞くことや、初めて体験することばかりだからです。今まで、工業に触れてこなかった人には難しく感じると思います。ですが、先生方は図や写真、例を用いて分かりやすく教えてくれ、補助してくださる、あまり気負う必要は無いと思います。

**伊佐治** 正直大変です。授業数を重ねるたびに内容が難しくなるので、普段から復習をしないと厳しいかもしれないです。また、普通科目の授業と違って専門的な事を学んでいくので、興味が無いとツライかもしれないです。

## どんな資格・検定を取得するの？

—これまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

**金森** 基礎製図検定と機械製図検定です。

基本的な製図の知識や立体図を平面図にできるか、また、その逆ができるかを問われる検定です。製図が苦手だったので、学校の朝学習や授業だけでなく、過去問を先生に貰い、家でも勉強し、製図に慣れるようにしました。

○取得までにかかった期間…どちらも約一ヶ月

**伊佐治** 危険物取扱者乙種第4類です。

主に液状の危険物を取り扱えるようになる国家資格で、求人でも優遇されることがあります。教本を買って自分でコツコツと学習しました。

○取得までにかかった期間…2～3週間

## どんな先生が教えて下さるの？

—電子機械工学科の自慢の先生を教えてください。

**金森** 豊富で幅広い知識と技術で僕たちの実習や研究部の活動を支えてくれる先生や、電気系・情報系が得意で、身近なスマホやPCの問題を解決してくれる先生がいます。

**伊佐治** 楽しく分かりやすい授業をしてくださり、進路について詳しいため進路相談にも乗ってもらえる、頼れる先生がいます。

## どのように部活に取り組んでいるの？

—所属している部活動と、部活動で頑張っていることを教えてください。

**金森** 電子機械研究部です。

メカトロニクス部門、ロボット部門、エコカー部門の3部門で活動内容が分かれ、自分の所属するメカトロニクス部門では、MPS※<sup>3</sup>を使って技能五輪全国大会出場を目指して日々努力しています。また、ロボット部門も同大会出場を、エコカー部門はエコランという大会の優勝を目指して努力しています。

○活動時間 平日…2時間(大会前は3時間) 休日…3時間

※3 MPS

…単体動作やネットワーク動作で工場の自動化を体験できる機械

**伊佐治** 吹奏楽部です。

現在(12月)は、冬のアンサンブルコンテストに向け、少数での合奏、個々の技術力向上に力を入れています。コンテストが夏と冬にあり、定期演奏会も行っているので、それらに向けて練習に力を入れています。

○活動時間 平日…2時間(水曜日は休み) 土曜…9時～16時

—部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

**金森** 自分は部活動中はメリハリをつけるようにしています。ダラダラ活動せず、やる時はやる、やらない時はしっかり休憩をとることをテスト前には特に意識してきました。また、テスト前になると、部室が勉強会場として開くので、仲間と教え合ったりするときもあります。

**伊佐治** 私は両立のために、授業内でなるべく理解することを意識しています。帰りが遅くなるので、授業で7割ぐらいは理解できると、家での学習と部活動のバランスが取れ、成績を保つことができています。

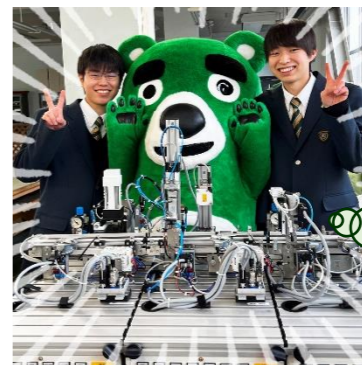
## 中学生へメッセージ

**金森** 電気機械工学科は電気系、航空系と、幅広いことが学べる学科です。好きな分野が決まっている人も、そうでない人も、自主性を大切にしている学科なので、のびのびと学習でき、自分を生かして楽しめるところだと思います。是非来てください！

**伊佐治** 岐阜工業では、ものづくりの基礎を3年間かけて身につけることができます。また、卒業後の進路も安定しており、就職・進学をサポートが手厚いです。自分の努力次第で将来の選択肢を増やすことができます。ものづくりの現場で将来活躍したい人、企業に求められる人材になりたい人は是非、岐阜工業高校を選択肢の一つに加えてほしいです。

## インタビューを終えて

金森さん、伊佐治さん、インタビューを受けてくださり、ありがとうございました。電子機械工学科は製造業に関係する知識を幅広く学ぶことができ、加工、製図、電気、回路設計、プログラミングといった、分野の異なる様々な経験ができる面白い学科だと感じました。興味をもって貰えたら、是非、電子機械工学科を見学してみたいかがでしようか。



この記事は令和4年12月時点の情報です。  
作成：令和4年度 後期生徒会

全国学生日本一に  
輝いた金森君(右)  
國領君(左)